

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：下保 修

事業名	一般国道32号 綾南・綾歌・満濃バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	白：香川県高松市西山崎町 至：香川県仲多度郡まんのう町十郷			延長	21.7 km
事業概要					
<p>一般国道32号は、高松市を起点に、綾川町、丸亀市綾歌町、琴平町、まんのう町を經由して高知市に至る延長L=138.5kmの主要幹線道路である。過去、沿道地域は主に住宅地として発展してきたが、近年は、商業・工業施設などの進出も見られる。</p> <p>綾南・綾歌・満濃バイパスは、沿道地域の生活環境を改善させ、さらに交通流の円滑化と交通安全の確保、都市間及び空港、港湾のアクセス性の向上などにより地域の文化・経済・産業の発展に貢献する主要幹線道路としての機能向上を目的として計画されたものである。</p>					
S47, 48, 63年度事業化	S57年度都市計画決定（S59・H4年度変更）	S50年度用地着手	S53年度工事着手		
全体事業費	665億円	事業進捗率	88%	供用済延長	19.2 km
計画交通量	14,900~40,200台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年	
	(事業全体) 2.4 (残事業) 4.3	54/960億円 〔事業費：34/803億円〕 〔維持管理費：20/157億円〕	234/2289億円 〔走行時間短縮便益：229/2211億円〕 〔走行費用減少便益：4.1/59億円〕 〔交通事故減少便益：0.94/19億円〕	平成19年度	
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（並行する現道における渋滞損失時間改善が見込まれる） ・安全で安心できる暮らしの確保（三次医療施設である県立中央病院等へのアクセス性向上が見込まれる。） ・地球環境および生活環境の保全（CO2, NO2, SPMの年間排出量の削減が期待される） 他10項目に該当 					
関係する地方公共団体等の意見					
<ul style="list-style-type: none"> ・本事業にあたっては、周辺自治体や国道高松琴平豊浜間整備促進期成同盟会などから積極的な事業促進要望を受けている。 					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
<ul style="list-style-type: none"> ・H16.3高松東道路（高松市前田東～同市檀紙町間）の6車線供用開始 ・H17.3市町村合併（丸亀市、綾歌町、飯山町）により丸亀市に合併 ・H18.3市町村合併（琴南町、満濃町、仲南町）によりまんのう町、（綾上町、綾南町）により綾川町発足 ・H16.4にH13に閉園したレオマワールドがリニューアルオープン 					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度末の供用区間は、全延長21.7kmのうち19.2km（一部暫定供用）を供用しており、残事業区間2.5kmについては、平成19年度に0.8km、平成21年度に1.7kmを暫定供用予定となっている。 					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
今後の見通しは、平成21年度に一部暫定区間を含め全線供用となる予定である。					
施設の構造や工法の変更等					
プレキャスト・アーチカルバート工法（テクスパン工法）採用により、工事期間の短縮による工事コストの縮減を図っている。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらない。				
事業概要図					

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの